

小笠原小学校は**母校**です。

## 教員あるある

教員にしてみると「それってある！」ということ  
思い当たることを順不同で



### いくつもの学校で勤務しているので、混乱することがある

- 物のありかを聞かれたときに「それなら〇〇にあるよ」と答えたが、前の学校のことだった。←よくある。
- 「以前に□□をやりましたよね」と堂々と言ったところ、前の学校での経験と混乱していた。←よくある。
- 通勤途中で道を間違える（以前に勤務した学校に向かってしまうこと）ことがある。←たまにある。

### それぞれのエキスパートがいる

- パソコンのことならあの教員に聞けばいい、放送機器のことならあの教員にと、必ず詳しい教員がいる。
  - ・学校の施設・設備は、特殊なものが多く、その学校独自のものも多い。担当が異動すると困ることもある。
- 教科の指導について、算数の指導ならあの教員、理科ならあの教員というように、極めている教員がいる。
  - ・体育、音楽、図工などでは、教員自身がレベルの高い能力（技能）をもっていることもある。
    - …国体や全国大会に出た、〇〇コンクールで賞をもらったなど
    - …スポ少・部活などの指導者として優秀な結果を残している
    - …図工・美術が専門の私には、様々な依頼が来ることもある。看板、横断幕、イラスト、Tシャツのデザイン、学校をまたいで（他の学校から）の依頼があることも
- 6年生を何回も受け持つと、鎌倉や国会議事堂などに詳しくなる。
  - ・教務主任→教頭→校長と職についていくとさらにその機会が増える
  - ・鎌倉のチェックポイントを「□□寺でお願いします」と言われたら、地図なしでそこへ行ける
  - ・多くの人は一生涯のうち1回くらいしか行かないだろうと思われる場所（国会など）へ何度も行く
- その学校の地域のことにやたら詳しい教員もいる。
- 中には、教育に関係のないことにプロなみの教員もいる。（スキー、ゴルフ、■—■ヤン、パ■■コ…）



### 24時間「先生」である …これまでの「あるある」とは違って、ちょっと重たい内容ですが

- 24時間、常に「先生」と言われる。夜遅くに受け持ちの親から相談を受けることもある。たとえ夜中に酔っぱらって歩いているだけでも「先生」と呼ばれる。
  - …企業のクレーム処理の担当が、クレームのあて先を自分の家の電話や携帯電話にして、24時間いつでもクレームを受け付けるようにしているということはある。せっかくの日曜日に頼まれもしないのに出かけて行って、オフィスの掃除や片づけをしに来るサラリーマンもまずいない。でも教員は…。
- 教職調整額があるものの、過労死ラインといわれるほどの時間外勤務をしている現状。
- 1年間に有給休暇が20日あるが、前年度までの取り残しが繰り越されるため、多くの教員は40日の有給休暇が取れる。それをその年で使い切らず、またその翌年に積み残す教員の方がほとんど。その上に土日にも学校に出てきて仕事をする教員もいる。

☆教員が物事を損得で考えて仕事をしていたら、今の日本の学校は成り立たない。しかし、過労死ラインを超えて働くなどは異常な状態である。この異常な状態は改善をしなければならない。